

KADAIGEST 2024 3



① 実際の試合の様子 ② 全国国立卓球大会 ③ 忘年会での全学年合同での様子 ④ 大学祭では焼き鳥を販売! ⑤ 試合の遠征先での観光の様子

香川大学 卓球部

香川大学卓球部です。私たちは週に約3回から4回ほど、部員一同で和気あいあいと練習に励んでいます。四国の大会や香川県内の大会に出場もしており、少しでも多く勝てるように、そして1部リーグ昇格を目指して日々努力しています。

卓球部では卓球競技だけでなく、新歓祭や忘年会といったイベントも充実しています。1年生から4年生までがそろって交流する機会であり、毎回楽しい思い出ができます。部活動はなかなか楽しいことばかりではありません。四国大会に出場しても、他の四国の大学はレベルが高く、なかなか1部リーグに昇格できないというのが現状です。年に2回しか昇格のチャンスはなく、その

チャンスを活かすできませんでした。そんな中でも私たち卓球部は日々の努力を欠かしません。上級生下級生問わず、お互いの長所短所を伝えあいながら、もっと上手くなるという気持ちを捨てずに頑張っています。『楽しむときはとことん楽しむ、頑張るときはとことん頑張る。』これが香川大学卓球部の魅力だと思います。

私自身は中高ともに県ベスト128という残念な成績で、全く上手くありませんが香川大学卓球部の一員として楽しく活動できています。このように卓球が上手いかどうかは関係ありません。一緒に楽しく向上心を持って卓球できる人をいつでも募集中です!

活動場所 ・第1体育館

活動時間 ・月～金の週3回程度

部員数 ・25人

HP・SNS/ X: @kagawa_ttc

連絡方法 (連絡先)/
Xの方にDMしてください



経済学部2年
池田 逸人

岡山県立
倉敷青陵高校
出身



2024年3月25日(月) 17:30より、広報室主催による教職学研究会～あなたの特技を教えてください～が開催されました。

「教職学研究会」とは、構成員（教員・職員・学生）同士の交流の機会を設けることで、業務中には見られない構成員の個性や特性を発揮させ、コミュニケーションの機会を創出すること、構成員の連携の強化を図り、円滑な大学運営に繋げること、そして構成員の隠れた才能を発掘し、新たな広報活動にも繋げることを目的に、昨年からは始まった新しい試み。全演目終了後には、参加者全員が審査員となって審査投票を行い、より優れたパフォーマンスを行ったグループ、個人に対して学長賞と広報室長賞を授与し表彰するというイベントです。

2回目の開催となった今回、前回同様に我こそはここで特技を披露したいという出演者を募集したところ、合わせて9組の応募があり、観覧者についても多数の申込がありました。

開催当日、山神真一広報室長が司会進行を務めるなか、トップバッターを飾ったのは、教職員で構成されたバンド「SHOQUEEN（ショクイーン）」によるバンド演奏。その後、動画を用いたカラスの生態紹介、オリジナル作曲やビートボックスの披露、そして

剣道部員による剣道形の披露など学生らによる多彩な演目が続き、会場を盛り上げました。

プログラム中盤にはブレイクタイムとして、主催者の広報室と昨年の受賞者等とのコラボレーションによる「マツケンサンバII」のオマージュダンスパフォーマンスを披露。楽器演奏と歌とダンスで、会場に笑いの渦を巻き起こしました。

後半戦最初は、職員のレクチャーのもと椅子ヨガが行われました。体が硬い人でも無理なく取り組める内容で、参加者を巻き込み会場が一体となった後、職員3人組の楽器演奏や学生のギター弾き語りなど、音楽演目が続きました。

そして締めくくりは、卓球台とともにジャージ姿で登場した上田夏生学長と小方直幸副学長とのピンポン対決！お二人はこの日に向けて、（表紙ページの）卓球部指導のもと特訓を積んできた模様。対決の途中でジャージから浴衣に、ラケットがスリッパに代わり「スリッパ温泉卓球」が繰り広げられ、会場を大いに沸かせました。

全てのパフォーマンス終了後、投票フォームによる審査投票が行われ、採点結果に従って受賞者を選定。このイベントらしく、

賞状の名入れについても書道部部長の学生による演出で花を添え、前方スクリーンに映し出されるなか、ひと筆ひと筆書き進める様子を参加者みな固唾をのんで見守りました。

2位の広報室長賞には、口を巧みに使って音を奏でるビートボックスを披露した、経済学部3年の吉田雄飛（よしだゆうひ）さんが選ばれ、完成したばかりの賞状とブロンズを手「このような光栄な賞をいただけて嬉しい限り」と嬉し涙を流しました。

そして、栄えあるトップ賞の学長賞には、カラスを模した衣装に身を包み、動画解説するかたちでカラスの特徴をユーモラスに紹介した農学部3年の大倉万凜（おくらまりん）さんが受賞。賞状、ブロンズとともに*カダイジン（広報学生スタッフが制作する香川大学で活躍する人物の紹介動画）への出演権を獲得し、喜びの大きな笑顔を見せました。*裏面QR参照

参加者全員での集合写真撮影をもって、今回も盛会に幕を閉じた教職学研究会。次回はより多くの構成員の方々に参加してもらえよう、時期を刷新して開催される予定です。次回もまだ見ぬ隠れた才能を輝かせるべく、たくさんのご参加をお待ちしています！



SHOQUEEN 「演劇・バンド演奏」



大倉万凛 「カラスについて知ろう！」



原田知 「自作楽曲披露」



吉田雄飛 「ビートボックス」



剣道の極意（剣道部員有志）「形の披露」



後藤雅美 「椅子ヨガ de リラックス」



岩谷歩 「ギター弾き語り」



アリエルとエリック王子+セバスチャン 「楽器演奏」



上田学長と小方副学長 「ピンポン対決」



書道部部长 「賞状の名入れパフォーマンス」



学長賞_大倉万凛



広報室長賞_吉田雄飛



広報室と昨年の受賞者による「マツケンサンバⅡ」



会場のみなさんでヨガ

TOPICS

3/6 「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点 コンソーシアム四国ブロックシンポジウム」を開催

本シンポジウムは、四国ブロック関係者の対面参加に加え、全国各地からオンラインでの参加も多数あり、本事業の

推進と当該コンソーシアムの重要性を確認し合う大変有意義なシンポジウムとなりました。



3/6 令和5年度学生支援プロジェクト事業最終 報告会をオンライン開催

最終報告会では、各プロジェクトから事業の進捗状況・成果や苦心談、活動を通じて学んだこと、また、反省点

や改善点、今後の展望など、事業の継続とさらなる発展を見据えたプレゼンテーションが行われました。



3/8 「香川大学異分野研究者交流会 -1.0」を開催

本イベントは2部構成となっており、第1部では研究分野の異なる研究者の交流を目的としたポスターセッションを実施し、約42名が参加しました。第2部

は異分野研究者交流セミナーで、60名（うちオンライン参加23名）が参加し、パネルディスカッションで意見交換も行いました。



3/13 大学院生に対する学術研究活動表彰式を開催

令和5年度香川大学大学院生に対する学術研究活動表彰式を実施しました。この制度は、学術研究活動において特に顕著な業績を挙げたと認められる

大学院生を表彰するものです。今回が2回目の表彰式となります。今回は、大学院生43名及び団体4組が受賞しました。



3/21 香川大学学生表彰（学長表彰式）を実施

学長表彰式を実施しました。これは、学術研究活動や課外活動、社会活動において優秀な功績を取った学生・学生団体を称えるもので、今回は香川

大学情報化推進統合拠点DX推進研究センターDXラボが令和3年度に引き続き、2度目の表彰を受けました。



3/24 令和5年度卒業式及び大学院修了式を挙

式典は、生憎の雨模様でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために取りやめていた学歌斉唱を5年ぶりに再開し、場内には爽やかな歌声と演奏が響き渡り、晴れやかに門出をお祝いすることができました。



学部卒業式



大学院修了式

カダイジン出演者募集中 (香川大学生・教員・職員・卒業生 対象)

香川大学のまだ知られていない凄い人を取り上げる企画で、「立候補」と「推薦」で募集しております。是非ご応募ください!

学内の方はこちらから応募できます (選考あり)

<https://forms.office.com/r/CMd3jyTnzW>

↓学外の方はこちらのメールから応募できます (選考あり)

kouhougakuseistaff-h@kagawa-u.ac.jp

(メール記載事項)

・連絡先

・氏名

・アピールポイント (写真や動画などを含む)

今までのカダイジンの紹介はこちら



あなたのご意見をお聞かせください!

「KADAIGEST」では、本誌に関するアンケートを行っています。ご回答いただいた方の中から抽選で2名様に香川大学オリジナルグッズをプレゼントします。

香川大学に関する話題や発信してほしいこと、ご意見など何でもお寄せください。

こちらのQRコードからアンケートにアクセスできます
※令和6年5月31日締切

